

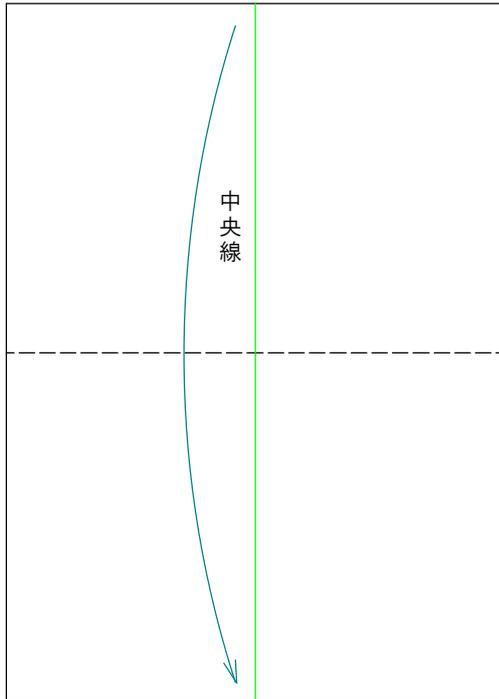
F-15 イーグル（初代）

by KOMINAMI Hiroshi

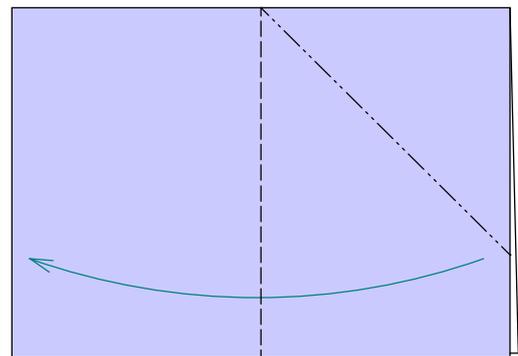
初作時期 昭和51（1976）年頃

昭和51年に日本に亡命したソ連のミグ25戦闘機や、当時航空自衛隊が採用予定のF-15戦闘機をモデルに、苦勞して作った機体です。二枚の垂直尾翼を設けるために伝承折紙の「紙鉄砲」を応用しました。今となつては、スタイルは稚拙で、性能も大したことはありませんが、偶然に出来たF-4とは異なり、造形にこだわって創作した最初の作品です。尾翼や操縦席の形を多少変えるとミグ25も作れます。

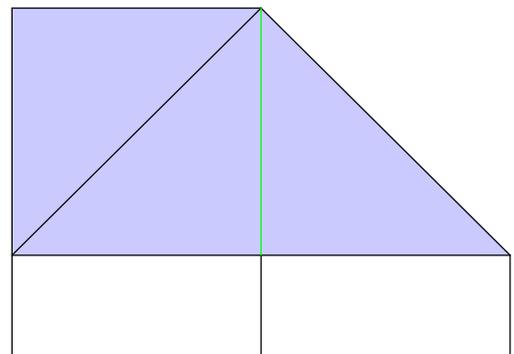
収録にあたり性能向上のため若干改良しました。高速機で、錐もみに陥りやすいですが、根気よく調整すると、室内ならばそこそこ気持ちよく飛びます。



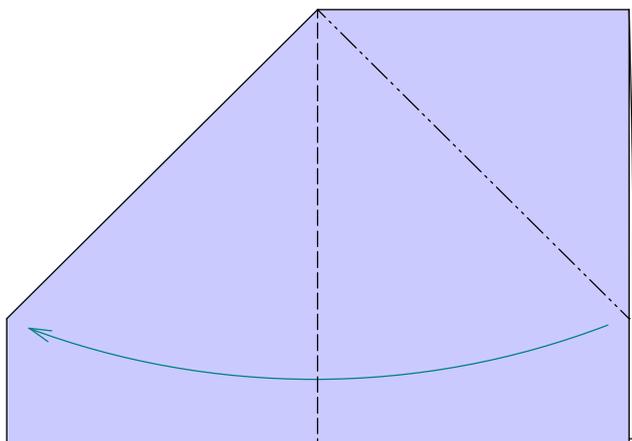
[1] 用紙はB5かA4判ぐらいの大きさとする。



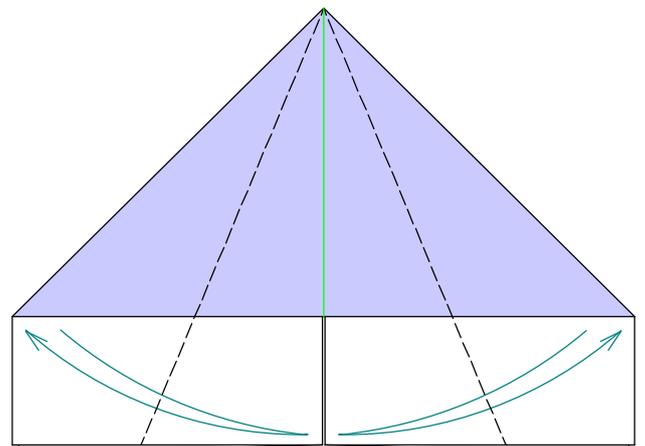
[2] 右手前の紙を左に折り、頭を三角につぶす。



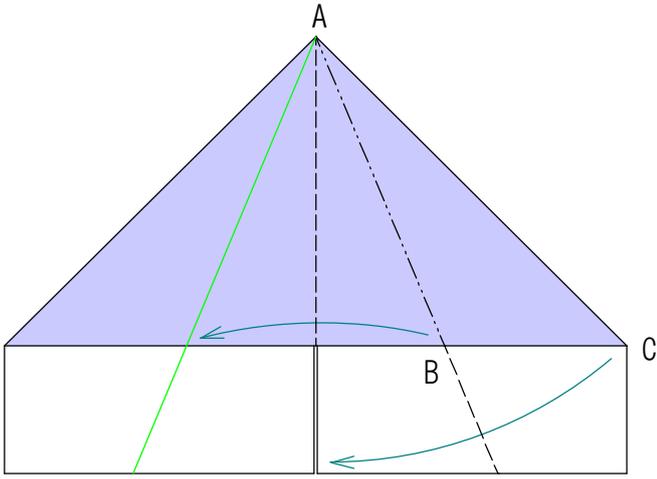
[3] [2]の結果の図。次に全体を裏返す。



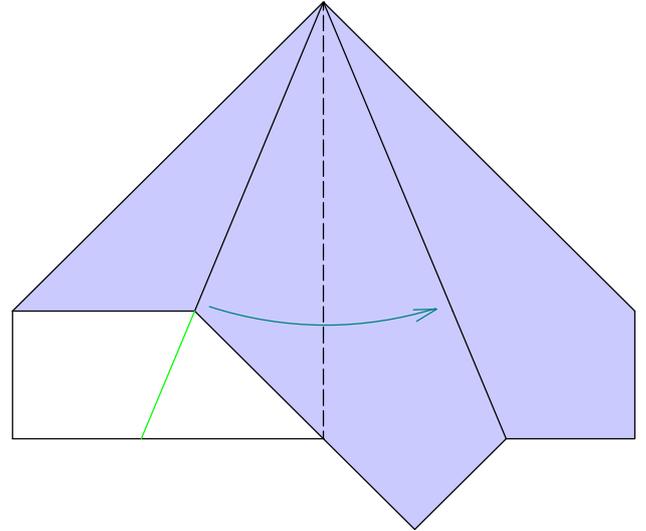
[4] [2]と同様に折る。



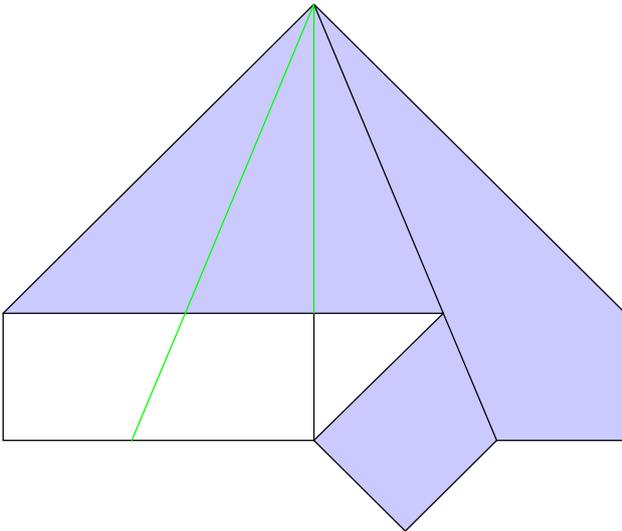
[5] 手前の羽根にだけ、折目をつける。



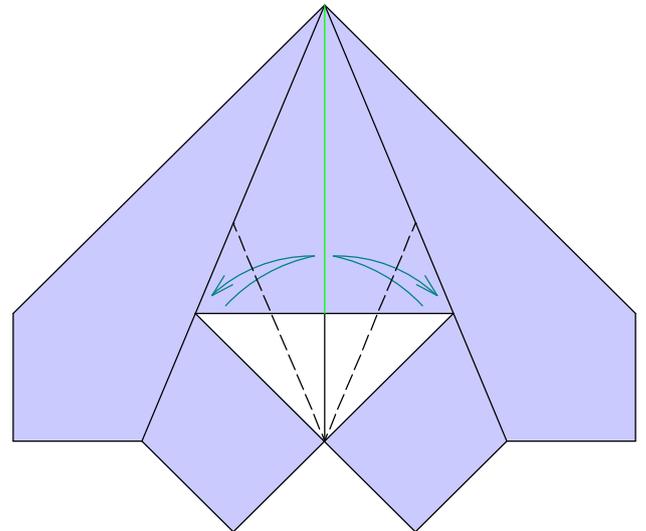
[6] AB間をつまんで中央線で左に折る。同時にACを中央線に合わせる。



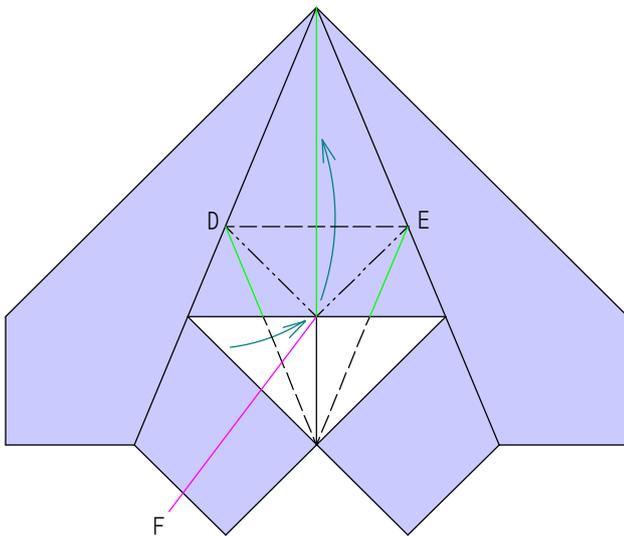
[7] [6]で左に折った部分を戻す。この部分から操縦席、後ろに突出た部分から垂直尾翼が作られる。



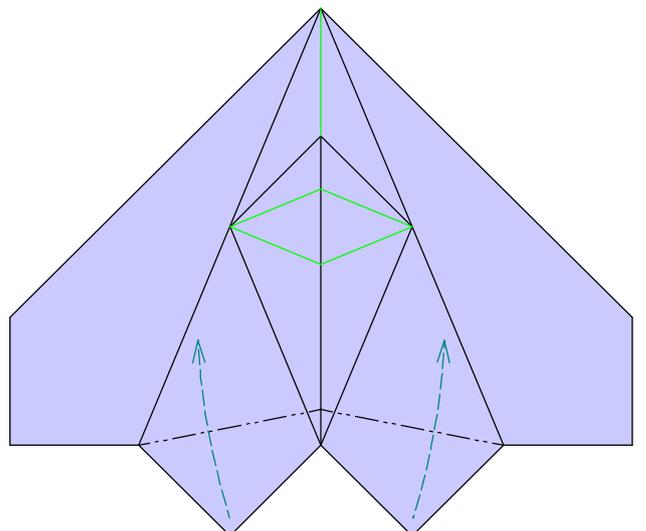
[8] [6]と同様に反対側を折る。



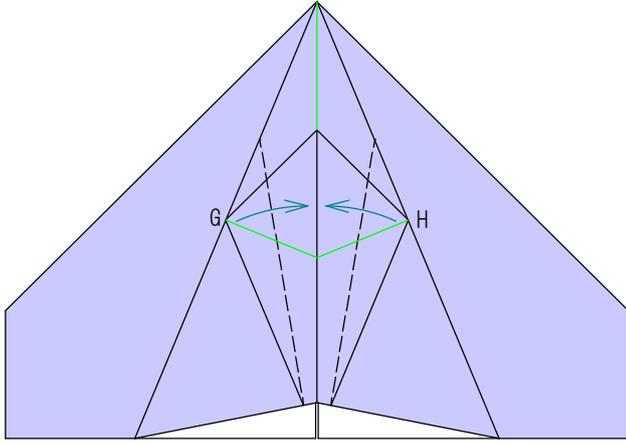
[9] 操縦席の成形。折目をつける。



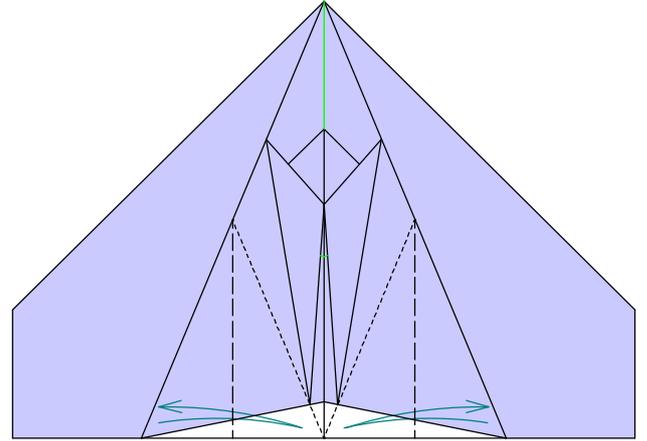
[10] DEを谷折りしてFを前に。DF、EFを山折り。



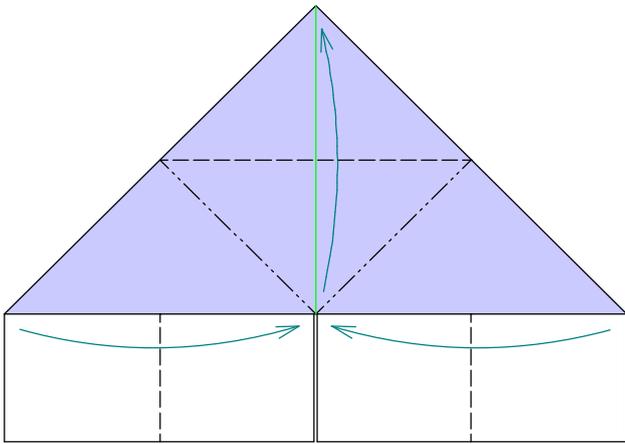
[11] 垂直尾翼後縁の成形。内側に折込む。



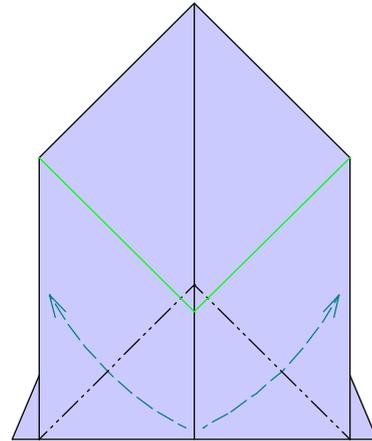
[12] GとHを中央線に寄せる。



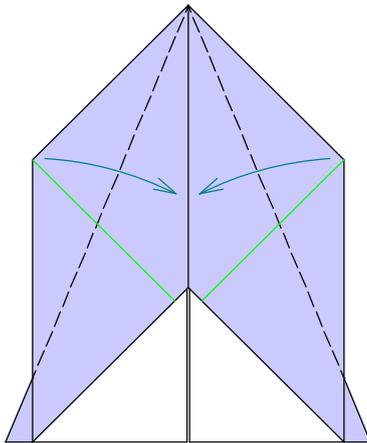
[13] 折目をつける。次いで全体を裏返す。



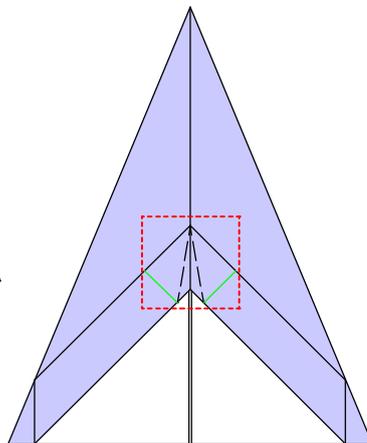
[14] 主翼と胴体の成形。[10]と似た折りかたをする。



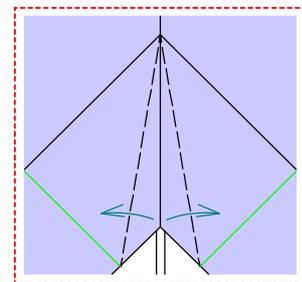
[15] 手前の一枚だけを内側に折込む。



[16]



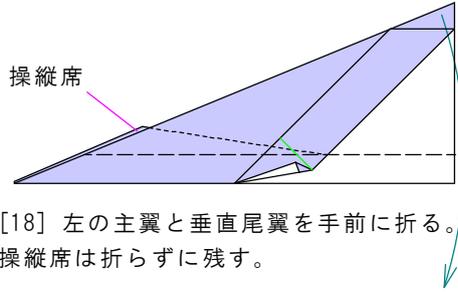
[17] 胴体両側面に、飛ばす際の「指掛かり」を設ける。そのあと中央線を山折りして背中を閉じる。



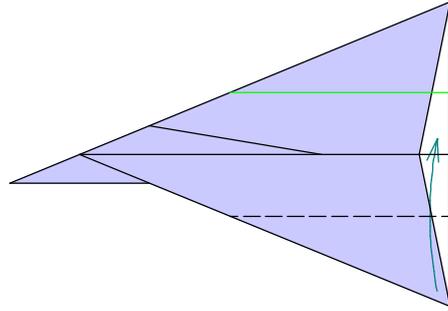
[17]の拡大図



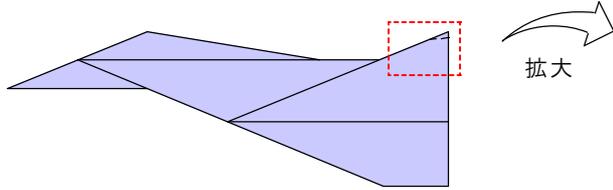
拡大



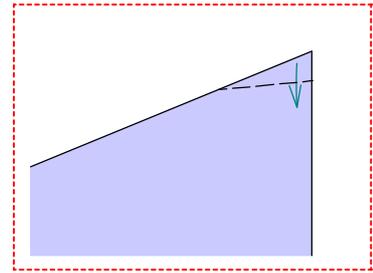
[18] 左の主翼と垂直尾翼を手前に折る。
操縦席は折らずに残す。



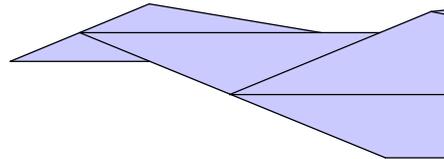
[19] [13]でつけた折目を谷折り。主翼を折らないよう注意。左右同様に折る。



[20] 垂直尾翼先端をわずかに折曲げる。



[20]の拡大図



[21] 折りあがり。主翼を水平にし、垂直尾翼を垂直に立てる。

F-15 イーグル（初代） 三面図

